令和６（2024）年度

**弘前大学理工学部**

# 第３年次編入学学生募集要項

（推薦選抜、一般選抜）

## ■推薦選抜・一般選抜編入学試験日程表

| 募集人員 | 事項 | 日時 |
|---|---|---|
| 推薦選抜及び一般選抜合計10名 | 出願期間 | 令和５年７月３日(月)～７月７日(金) |
| | 編入学試験実施日時 | 令和５年８月25日(金)　10時～ |
| | 合格者発表 | 令和５年９月６日(水)　10時(予定) |
| | 入学手続日 | 令和５年10月２日(月)～10月６日(金) |

**弘　前　大　学**

**HIROSAKI　UNIVERSITY**

# 目　　次

## 令和６年度　理工学部第３年次編入学学生募集要項


■　弘前大学における三つの方針（ポリシー）

Ⅰ．編入学者選抜方法の区分 …… 1

Ⅱ．募　集　人　員 …… 1

Ⅲ．編入学の時期及び編入学年次 …… 1

Ⅳ．出　願　資　格 …… 1

Ⅴ．出　願　期　間 …… 2

Ⅵ．出願書類等の提出先 …… 2

Ⅶ．出　願　書　類　等 …… 2

Ⅷ．選 考 方 法 等 …… 3

Ⅸ．試験実施日時及び会場 …… 4

Ⅹ．合格者の発表 …… 4

Ⅺ．入　学　手　続 …… 4
　１．入学手続の方法 …… 4
　２．入学手続の際に提出・納付するもの …… 4

Ⅻ．入 学 者 案 内 …… 5
　１．入学料及び授業料の減免について …… 5
　２．日本学生支援機構奨学金（貸与）※卒業後に返還が必要 …… 5
　３．学生教育研究災害傷害保険（学研災）と学研災付帯賠償責任保険（学研賠） …… 5
　４．学生寮入寮希望調書等の請求方法及び受付期間 …… 6

ⅩⅢ.その他の注意事項 …… 6

ⅩⅣ.個人情報の取扱いについて …… 6

ⅩⅤ.入学後の単位認定 …… 7
　１．読み替え単位認定 …… 7
　２．単位認定等の基本的な考え方 …… 7
　３．修業年限及び在学年限 …… 7
　４．規定の適用 …… 7
　５．評価基準 …… 7

ⅩⅥ．理工学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） …… 8


添付書類等

・（No.１）志願票
・（No.２）「振替払込受付証明書（大学提出用）」貼付台紙・写真票・受験票
・（No.３）推薦書
・（No.４）志望理由書
・（No.５）払込取扱票
・（No.６）受験票送付用封筒
・（No.７）あて名票

# 弘前大学における三つの方針（ポリシー）

## １．入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学は，「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めています。

- 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として，または多様な人々と協働して，国際社会や地域社会に参画していこうとする行動力
- 生涯にわたって知的好奇心を持ち続け，知的・人格的に成長していこうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

**■解説：入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）**

弘前大学の入学者受入れの方針の「学力」「行動力」「意欲」といったキーワードには，入学時に学生が身に付けておくべき力と卒業時に学生が身に付けておくべき力の２つが含まれています。その理由は，大学教育を効果的に実践し，学生を主体的で能動的な知的探究者として社会に送り出していくためには，学生が入学前に身に付けて来た学力の芽を大きく育て，花開かせることが重要だと考えているからです。

学生が入学時に身に付けておくべき力とは，「学力の３要素」です。学力の３要素は，初等中等教育において身に付けるべき学力です。その内容は，①基礎的な知識・技能，②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力，③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，となっています。

また，卒業時に学生が身に付けるべき力とは，弘前大学の「卒業認定・学位授与の方針」や「教育課程編成・実施の方針」で掲げている「見通す力」「解決していく力」「学び続ける力」です。詳細は本学ホームページの該当部分を読んでみてください。

「学力」「行動力」「意欲」には，弘前大学の教育目的が内包されているため，「学力」「行動力」「意欲」は「学力の３要素」と完全一致しているわけではありません。ただし，教育理念の点で，両者は一致しています。よって，弘前大学の入学者選抜では，「学力の３要素」を多面的・総合的に評価します。

実際の入試の内容や方法は，学部や学科，あるいは入試形態によって異なります。詳細は各学部の入学者受入れの方針，入学者選抜要項・募集要項を確認してください。

## ２．教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

弘前大学は，学生の主体的・能動的な知的探究をとおして，学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育課程を編成・実施します。

⑴ 教養教育：教養教育は学生の探究の第一歩です。

－見通す力

学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで，複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促します。これにより，国際社会や地域社会が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養います。

－解決していく力

学生に国際社会や地域社会の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供します。これにより，学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できるよう導いていきます。

⑵ 専門教育：専門教育は，学生の探究の集大成です。

－見通す力

学生に専門知識を体系的に教授することで，自然や社会への洞察を深化させます。

－解決していく力

学生に，専門知識を国際社会や地域社会の問題解決に応用したり，高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供します。これに加えて専門家としての見識と職業倫理も，実践をとおして培います。

⑶ 学士課程教育の再構築：学生の探究の過程こそが新しい学士課程の本質です。

－学び続ける力

卒業後，学生が国際社会や地域社会の一員として充実した生活を送るとともに，より良い社会の実現に貢献していくことができるように，学生の探究の習慣を確立します。

## ３．卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

弘前大学は，変化が激しく，将来予測が困難な時代にあってこそ力を発揮できる主体的・能動的な探究者を育み，高い倫理観をもって知的探究に取り組むための三つの力を身に付けた者に対して学位を授与します。

- 学際的な教養と高度な専門性を身に付け，学術的観点から自然や社会を見通す力
- 学術的な知識を具体的な実践へ移し，国際社会や地域社会の問題を解決していく力
- 常に新しい問題に挑戦し続け，生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

＊カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの解説は，ホームページでご覧いただけます。 https://gkm.hirosaki-u.ac.jp/kyoikuinfo/policy.html

# 令和６年度　理工学部第３年次編入学学生募集要項

## Ⅰ．編入学者選抜方法の区分

令和６年度弘前大学理工学部の第３年次編入学者の選抜は，「推薦選抜」及び「一般選抜」の方法で行います。

「推薦選抜」は，学業成績が一定の基準を満たしている者を対象に，出身学校長の推薦に基づき選抜を行います。

「一般選抜」は，出願資格として特に学業成績の条件は課さず，また，推薦書も不要としますが，面接試験の結果をより重視して選抜を行います。

## Ⅱ．募　集　人　員

| 学　　科 | 募　集　人　員 |
|---|---|
| 数　物　科　学　科 | ２人 |
| 物　質　創　成　化　学　科 | １人 |
| 地　球　環　境　防　災　学　科 | ２人 |
| 電　子　情　報　工　学　科 | ２人 |
| 機　械　科　学　科 | ２人 |
| 自　然　エ　ネ　ル　ギ　ー　学　科 | １人 |

## Ⅲ．編入学の時期及び編入学年次

編入学の時期は，令和６年４月とし，第３年次に編入するものとする。

## Ⅳ．出　願　資　格

〔推薦選抜・一般選抜共通〕

原則として，当該学科の第３年次からの教育研究内容に関連する分野に対応できる者とする。

なお，**推薦選抜と一般選抜の両方に出願することはできません。**

〔推薦選抜〕

出願できる者は，次の者とする。

高等専門学校を令和６年３月卒業見込みの者で，かつ，学業成績が優秀で，出身学校長が責任を持って推薦でき，合格した場合には入学を確約できる者。

なお，学業成績に関する推薦基準の目安は，出身学校における第４学年の成績順位が学科（コース）現員の上位50％以内（小数点以下切り上げ）の者とします。

また，学校長が本学部に推薦できる人数は最大３名までとします。

〔一般選抜〕

出願できる者は，次のいずれかに該当する者とする。

①高等専門学校又は短期大学（部）を卒業した者及び令和６年３月卒業見込みの者

②専修学校の専門課程（修業年限が２年以上で，かつ，課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上であること）を修了，又は令和６年３月修了見込みの者。ただし，学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。

③大学を卒業した者，又は一つの大学に２年以上在学（休学期間を除く）した者で67単位以上を修得した者，若しくは令和６年３月までに２年以上在学となる見込みの者で，67単位以上を修得見込みの者

④高等学校，中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が２年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者又は令和６年３月に修了見込みの者

⑤その他①～④に定める者と同等以上の学力があると認められた者

## Ⅴ．出　願　期　間

令和５年７月３日（月）から令和５年７月７日（金）までとする。
持参の場合は，平日９時から17時までとする。
郵送・持参とも，令和５年７月７日（金）17時までに必着のこと。

## Ⅵ．出願書類等の提出先

〒036-8560　青森県弘前市文京町１番地　弘前大学学務部入試課　電話 0172(39)3122

**障がい等のある入学志願者との事前相談について**

病気・負傷や障がい等のある入学志願者のうち，受験上及び修学上特別の配慮を必要とする方は，令和５年６月19日（月）までに，あらかじめ入試課へ申し出てください。

弘前大学学務部入試課
〒036-8560　青森県弘前市文京町１番地
電話 0172(39)3122

## Ⅶ．出　願　書　類　等

出願書類の記入に当たっては，黒ボールペン（ただし，インクが消せるものは不可）を使用し，丁寧に記入してください。

**〔推薦選抜〕**

| | 出　願　書　類 | 内　　容 | 所定用紙No. |
|---|---|---|---|
| 1 | 志願票 | 別添綴り込みの用紙に必要事項を記入すること。 | No. 1 |
| 2 | 写真票・受験票 | 別添綴り込みの用紙に必要事項を記入すること。 | No. 2 |
| 3 | 「振替払込受付証明書」貼付台紙 | 払込済の「振替払込受付証明書(大学提出用)」を貼付したもの。 | |
| 4 | 調査書 | 出身学校長が作成し，厳封したもの。 | |
| 5 | 推薦書 | 別添綴り込みの用紙に，出身学校長が作成し厳封したもの。 | No. 3 |
| 6 | 志望理由書 | 別添綴り込みの用紙を使用すること。 | No. 4 |
| 7 | 入学検定料 | 30,000 円。入学検定料は別添綴り込みの「払込取扱票」を用いて，最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込むこと。 | No. 5 |
| 8 | 受験票送付用封筒 | 別添綴り込みの封筒(小さい方)に，自分の住所，氏名等を明記し，速達郵便料(344 円分の切手)を貼付したもの。 | No. 6 |
| 9 | あて名票 | 別添綴り込み用紙３ヶ所に記入すること。 | No. 7 |

〔一般選抜〕

| | 出　願　書　類 | 内　　容 | 所定用紙No. |
|---|---|---|---|
| 1 | 志願票 | 別添綴り込みの用紙に必要事項を記入すること。 | No. 1 |
| 2 | 写真票・受験票 | 別添綴り込みの用紙に必要事項を記入すること。 | No. 2 |
| 3 | 「振替払込受付証明書」貼付台紙 | 払込済の「振替払込受付証明書(大学提出用)」を貼付したもの。 | |
| 4 | 卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書 | 出身学校所定のもの。<br>大学出身者（短期大学を除く）で２年次に在学中の者は在学証明書を，中途退学した者は退学証明書を提出すること。<br>専修学校の出身者は修了又は修了見込みの専修学校が，修業年限２年以上で，かつ修了に必要な総授業時間数が，1,700時間以上であること及び当該専修学校を修了又は修了見込みであることの証明書を提出すること。<br>高等学校，中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の出身者は，当該学校が発行する修業年限２年以上で，かつ，文部科学省告示第63号又は第64号の基準を満たす課程を修了又は修了見込みであることの証明書を提出すること。 | |
| 5 | 調査書 | 出身学校長が作成し，厳封したもの。<br>大学，短期大学（部），専修学校及び高等学校，中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の出身者は成績証明書（修得単位数が明記されたもの）を提出すること。<br>出願資格③該当者のうち，大学に２年以上在学（見込み）し出願時に67単位を未修得の者は，上記成績証明書のほか，履修状況の分かる書類（67単位以上を修得見込みであることの証明書等）を提出すること。 | |
| 6 | 志望理由書 | 別添綴り込みの用紙を使用すること。 | No. 4 |
| 7 | 受講科目の概要（シラバス）<br>（※出願資格の高等専門学校を卒業した者及び卒業見込みの者に該当する場合は提出不要） | 出身学校における各学年ごとの全ての履修科目の講義（授業）内容を記したもの。（コピー可） | |
| 8 | 入学検定料 | 30,000円。入学検定料は別添綴り込みの「払込取扱票」を用いて，最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込むこと。 | No. 5 |
| 9 | 受験票送付用封筒 | 別添綴り込みの封筒(小さい方)に，自分の住所，氏名等を明記し，速達郵便料(344円分の切手)を貼付したもの。 | No. 6 |
| 10 | あて名票 | 別添綴り込み用紙２ヶ所に記入すること。 | No. 7 |

# Ⅷ. 選考方法等

〔推薦選抜〕

合格者の選考は，面接，志望理由書，推薦書及び調査書の結果を総合して判定する。

（１）面接　（基礎学力に関する試問を含まない）

（２）配点　面接，志望理由書及び推薦書300点，調査書200点の合計500点とする。

（３）面接は複数の教員で受験者１人ずつの面接を行う。面接時間は15分～20分程度。

〔一般選抜〕
合格者の選考は，面接，志望理由書及び調査書又は成績証明書の結果を総合して判定する。
（１）面接　（基礎学力に関する試問を含む）
（２）配点　面接及び志望理由書400点，調査書100点の合計500点とする。
（３）面接は複数の教員で受験者１人ずつ行う。面接時間は15分～20分程度。
（４）機械科学科の面接では，「数学」「機械工学の基礎」について試問します。

## Ⅸ．試験実施日時及び会場（推薦，一般とも同一日）

| 月　　日 | 時　　間 | 試　験　内　容 | 試　験　会　場 |
|---|---|---|---|
| 令和５年８月25日（金） | 10時～17時(※) | 面　　接 | 理　工　学　部 |

(※)試験終了時間は予定より早くなることがあります。

受験上の注意
① 試験当日は，９時40分までに理工学部の指定された面接控室に入室してください。
② 受験の際には，「受験票」を必ず持参してください。

## Ⅹ．合格者の発表

合格者の受験番号を次のとおり発表するとともに，合格者に対し合格通知書等の書類を「あて名票」に記載された住所に郵送します。
電話等での合否に関する問い合わせには一切応じません。

| 発表日時 | 発表方法 |
|---|---|
| 令和５年９月６日（水）<br>午前 10 時（予定） | 本学入試情報ホームページ（https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/）で発表 |

## Ⅺ．入学手続

### １．入学手続の方法

入学試験に合格した者は，郵送又は持参により，入学手続を行ってください。
期日に手続きを完了しない者は，入学を辞退したものとして取り扱います。
○郵送の場合　･･･　令和５年 10 月２日（月）から令和５年 10 月６日（金）午後５時までに到着するように，必要書類一式を「書留速達」で郵送してください。郵送先は学務部入試課になります。
○持参の場合　･･･　令和５年 10 月２日（月）から令和５年 10 月６日（金）の平日午前９時から午後５時までに，必要書類一式を学務部入試課まで持参してください。

### ２．入学手続の際に提出・納付するもの

入学手続の際には，以下のものが必要になります。
詳細は合格通知書送付の際にお知らせします。

| | |
|---|---|
| Ⅰ．合格通知書 | 合格発表時に送付します。 |
| Ⅱ．誓　約　・　保　証　書 | 合格通知の際に，本学所定用紙を送付します。<br>２人分の印鑑（本人と保証人の分）が必要になります。 |
| Ⅲ．入　学　料 282,000円 | 合格通知の際に，本学所定の振込用紙を送付します。銀行窓口での納付となります。 |

**※入学時までに入学料及び授業料が改定された場合は，それぞれ改定後の額となります。また，在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。**
※授業料は，年額 535,800 円（前期分 267,900 円　後期分 267,900 円）になります。納付期限は，前期分５月 31 日，後期分 10 月 31 日となりますが，希望により入学料と併せて前期分又は年額（前期分＋後期分）を前納することができます。

# Ⅻ．入学者案内

## １．入学料及び授業料の減免について

日本学生支援機構の給付奨学生の方は，入学料及び令和６年度前期の授業料が支援区分に応じて減免されます。

本学入学前の在学校において，すでに日本学生支援機構の給付奨学生に採用されている方は，本学入学後も引き続き給付奨学生の身分を継続できます。

ただし，条件によっては継続できない場合もありますので，下記の「問合せ先」に連絡の上，詳細を確認してください。

なお，本学入学前の在学校において日本学生支援機構の給付奨学生でない方であっても，本学入学後に日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申し込み，給付奨学生に採用された場合は，入学料及び令和６年度前期の授業料が支援区分に応じて減免されます。

一連の手続きに関する詳細は，合格者に送付する文書に記載しています。

※日本学生支援機構の給付奨学生に申し込むためには，「家計の経済状況に関する要件」，「国籍に関する要件」，「大学等に進学するまでの期間に関する要件」など，いくつかの要件をすべて満たしている必要があります。日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申し込む方は，日本学生支援機構のホームページ（https://www.jasso.go.jp/）の「奨学金の申込資格や支給額，申込方法を知りたい」→「申込資格や採用基準を満たしているか知りたい」→「進学後に在籍している大学等で申し込みたい方」→「給付型奨学金」→「申込資格」を参照の上，**「在学採用」の認定要件を満たしているか否かを必ず確認**してください。

なお，「大学等に進学するまでの期間に関する要件」又は「国籍・在留資格に関する要件」を満たしていないために日本学生支援機構の給付奨学生に申し込めない方であって，かつ，経済的に困難な家庭の学生を対象とした本学独自の経済支援事業（弘前大学入学料及び授業料減免事業）があります。

選考に際しては，日本学生支援機構の給付奨学生の「家計の経済状況に関する要件」を準用します。

**〈重要事項説明〉**

日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申し込む方，及び弘前大学入学料及び授業料減免事業に申請した方は，本学から「授業料等減免結果通知書」が届くまでは，**絶対に，入学料及び令和６年度前期授業料を支払わないでください。**

本学から送付される「授業料等減免結果通知書」を受け取る前に，入学料及び令和６年度前期授業料を**支払ってしまった場合，入学料及び授業料の減免申請は無効**となりますので，十分に注意してください。

## ２．日本学生支援機構奨学金（貸与）※卒業後に返還が必要

学業・人物ともに優秀であって，経済的理由によって修学が困難と認められる者に対して，本人の申請に基づき，選考の上，奨学金が貸与されます。

募集期間は，４月上旬から下旬までですが，募集に当たり説明会も予定しています。詳細は入学者案内又は掲示で確認してください。

## ３．学生教育研究災害傷害保険（学研災）と学研災付帯賠償責任保険（学研賠）

大学の教育研究活動中（正課・学校行事・大学が認めた課外活動）及び通学中の不慮の災害事故に対しての補償制度です。

全国的規模の互助救済制度のため非常に安価となっています。特に実習・実験・学外研修等に参加する予定の学生は，積極的に加入してください。

また，「学研災付帯学生生活総合保険（付帯学総）」という，学生生活全般に補償範囲を広げた，学生教育研究災害傷害保険（学研災）に上乗せできる保険もあります。

詳細は，入学手続時に配付される大学のパンフレットを参照してください。

**１～３の問合せ先**

弘前大学学務部学生課　生活支援グループ
電話：0172－39－3117
時間：平日 9：00～17：00
（ただし，令和６年２月22日，25日，３月11日，12日を除く）

※令和６年２月22日，25日，３月11日，12日は一般選抜の準備及び実施のため不在となります。窓口での対応及び電話照会ができませんので注意してください。

**４．学生寮入寮希望調書等の請求方法及び受付期間**

令和６年１月頃に本学ホームページに「入寮案内」が掲載されますので，必要書類や受付期間などはそちらをご確認ください。

もしご覧になれない場合は，下記の問合せ先までご連絡をお願いします。

○ホームページURL

https://www.hirosaki-u.ac.jp/campuslife/consultation/gakuryo/

○問合せ先

弘前大学学務部学生課　学生支援グループ

電話：0172－39－3107　FAX：0172－39－3119

# Ⅻ．その他の注意事項

（１）出願書類の不備なものは受理しないので，記載事項に記入もれ，誤記等のないよう十分注意してください。

（２）出願書類提出後は，いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。

# ⅩⅣ．個人情報の取扱いについて

（１）利用目的

志願者から提出された個人情報は，入学者選抜のほか，次の範囲で利用します。

①入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること。

②入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること。

③その他，教育・研究に関すること。

上記の利用目的に係る個人情報の取扱い業務の全部又は一部を外部に委託する場合があります。

（２）保健所等の行政機関への提供

受験者や試験監督者等の新型コロナウイルスへの感染が判明した場合に，濃厚接触者の特定を行うため，受験者リストを域内の保健所等の行政機関に提供します。

（３）EU一般データ保護規則（GDPR）の適用に係る手続きについて

欧州経済領域（EEA）に在住する者は，EU一般データ保護規則（General Data Protection Regulation(GDPR)）の適用を受けるため，別に手続きが必要となるので，事前に下記連絡先に連絡してください。

弘前大学学務部入試課
電　話：0172－39－3122　FAX：0172－39－3125
メール：nyushi@hirosaki-u.ac.jp

# XV．入学後の単位認定

入学後は出身校で取得した単位を本学理工学部の履修科目の単位に読み替えを行います。各学科における読み替えの方針は下記のようになっています。

## １．読み替え単位認定

編入学者が修得した科目単位のうち，本学部における教養教育科目及び専門教育科目の単位とみなし得るもの（以下「既修得単位」という）については，調査書又は成績証明書及び受講科目の概要（シラバス）に基づき，本学部教授会が単位の認定を行います。

## ２．単位認定等の基本的な考え方

（１）編入学後，最短２年で卒業可能となるよう考慮します。
しかし，認定単位が少ない場合には，２年間で卒業できない場合があります。

（２）編入学者が修得した科目について，教養教育科目単位のうち，修得すべき単位数として定める34単位から，第３年次に履修する必修科目を除いた32単位については認定します。
認定した科目についての評価の認定は行いません。

（３）単位数の換算について

①短期大学卒業者及び高等専門学校卒業者の編入学者に対しては，１単位当たりの履修時間数が同じことから，単位数の換算は行いません。

②専修学校の専門課程のうち，文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者については，１単位当たりの履修時間数を考慮して単位数の変換を行います。

③高等学校，中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の課程のうち，文部科学大臣が定める基準を満たすものを修了した者については，１単位当たりの履修時間数を考慮して単位数の換算を行います。

④分割複数科目（あるいはその逆）の単位数は，講義内容等を加味した上で，適切な単位数として認定することができます。

⑤特に当該学科の第３年次からの教育研究内容と異なる分野からの編入学者に対しては，単位認定に考慮を加えても，一般学生に比較して，なお水準が低い場合には，補完教育を実施する場合もあります。

（４）専門教育科目について，他学科の科目を自学科の卒業所要単位に含める科目として認定しようとする場合は，当該学科間で協議します。

## ３．修業年限及び在学年限

（１）修業年限は２年です。
（２）在学年限は４年です。

## ４．規定の適用

編入学年度において，第３年次学生用の規定を準用します。

## ５．評価基準

複数の科目をもって一つの科目の認定をする場合，〔秀・優・良・可〕の評価基準は次のように統一します。

○　認定前の複数の科目が，全て同一評価の場合，その評価そのもので評価します。
○　認定前の複数の科目の評価が分かれている場合，相対的に良い評価を用いて認定します。

# XVI. 理工学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

## 1）理工学部が求める学生像

理工学部では，変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養うカリキュラムを提供することによって，自然のしくみを探究する力，先端技術社会を支える科学を発展させ技術を創造する力，変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い，地域や国際社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって，「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 専門教育の基礎となる理数系の学力，および社会の中で専門的能力を活かすための基礎学力
- 高等学校までに学習すべき課題に真摯に取り組むとともに，自らの個性や資質に合わせてその他の活動にも積極的に参加し，自らを成長させていく行動力
- 専門を生かして新たな課題を見いだし，解決するために学び続ける意欲

また，理工学部の各学科は，それぞれ次のような学生を求めます。

**【数物科学科】**

（数学型）

- 数理科学への強い興味を持ち，数理科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 探究心が旺盛で豊かな数学的知識と自在な数理的応用力をもって社会に貢献する意欲のある人

（物理型）

- 自然の基本原理に興味を持ち，物理学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 物質を構成しその性質を決定している量子の世界から広大な宇宙の世界までを支配している自然の基本原理を理解し，より深く探求することやその成果を社会へ還元することに意欲のある人

**【物質創成化学科】**

- 化学物質の構造や化学反応のしくみを物質の機能と結びつけて探求することに興味を持ち，化学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 自ら課題を見いだし，暮らしを豊かにする機能性物質や環境調和を指向した機能性材料を創成し，リサイクル，省資源，エネルギー創成技術等に関する諸課題を解決するための研究開発に意欲のある人

**【地球環境防災学科】**

- 宇宙空間，大気・水圏，地質・岩石，地震・火山等を対象とした地球科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲を持つ人
- 自ら課題を見いだし，地球に関する科学の深化や，地球環境問題の解決，自然災害の防止に貢献することに意欲のある人

**【電子情報工学科】**

- 電子回路，電子材料，コンピュータとソフトウェア，通信ネットワーク，セキュリティ，組込みシステムなどの電子情報工学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 電子情報工学の発展に強い関心を持ち，学んだことの成果を社会のさまざまな分野で活用することに意欲のある人

**【機械科学科】**

- 医用・福祉，環境・エネルギー，航空宇宙，輸送機械，ロボット，AI，ナノテクノロジーなどの機械科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ものづくりに関する科学技術の発展に強い関心を持ち，失敗を恐れず継続してものごとに取り組み，学んだことの成果を社会のさまざまな領域で活用することに意欲のある人

**【自然エネルギー学科】**

- 自然や人間社会に深い興味を持ち，自然エネルギーに関する多様な分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 地域に存在する自然エネルギー源を利用することや，その活用に意欲のある人

## 2）入学志願者に求める学習の取組

- 理工学分野の学問を学ぶために必要な力として，論理的思考力，自然科学に関する基礎知識，表現やコミュニケーションの能力を身に付けておくことが必要です。
- 自ら課題を探求し，主体的に取り組む学習態度，新しい発見や創造的な活動に取り組むための行動力が必要です。また，他者と協働して学習や研究などに取り組むことができる行動力や学習態度が必要です。
- 困難な課題に対しても安易にあきらめることなく取り組み，やり遂げようとする意欲を持ち続けることが必要です。また，自然界の仕組みや社会を支える技術について日頃から興味を持ち，学習に自発的に取り組む態度が必要です。

## 3）入学者選抜の基本方針

理工学部では，前記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により，別表のとおり入学者を選考します。

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

| 選抜区分 | 選抜方法 | 目的と概要 | 重点評価項目 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 学力 | 行動力 | 意欲 |
| 一般選抜（前期） | 共通テスト<br>個別学力検査<br>出願書類（志望理由書・調査書） | 高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点に，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための意欲，行動力に関する観点を加味し，左記の方法により総合評価して選抜します。 | ◎ | ○ | ○ |
| 一般選抜（後期） | 共通テスト<br>個別学力検査<br>出願書類（志望理由書・調査書） | 高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点に，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための意欲，行動力に関する観点を加味し，左記の方法により総合評価して選抜します。 | ◎ | ○ | ○ |
| 総合型選抜Ⅰ | 講義の実施とその内容に関するレポート<br>個人面接（基礎学力に関する試問を含む）<br>出願書類（志望理由書・調査書） | 本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力，適性，意欲・関心等を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 編入学入試（第３年次）推薦 | 個人面接（基礎学力に関する試問を含まない）<br>志望理由書<br>推薦書<br>調査書 | 本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力，適性，意欲・関心等を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 編入学入試（第３年次）一般 | 個人面接（基礎学力に関する試問を含む）<br>志望理由書<br>調査書又は成績証明書 | 本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力，適性，意欲・関心等を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。 | ◎ | ◎ | ◎ |

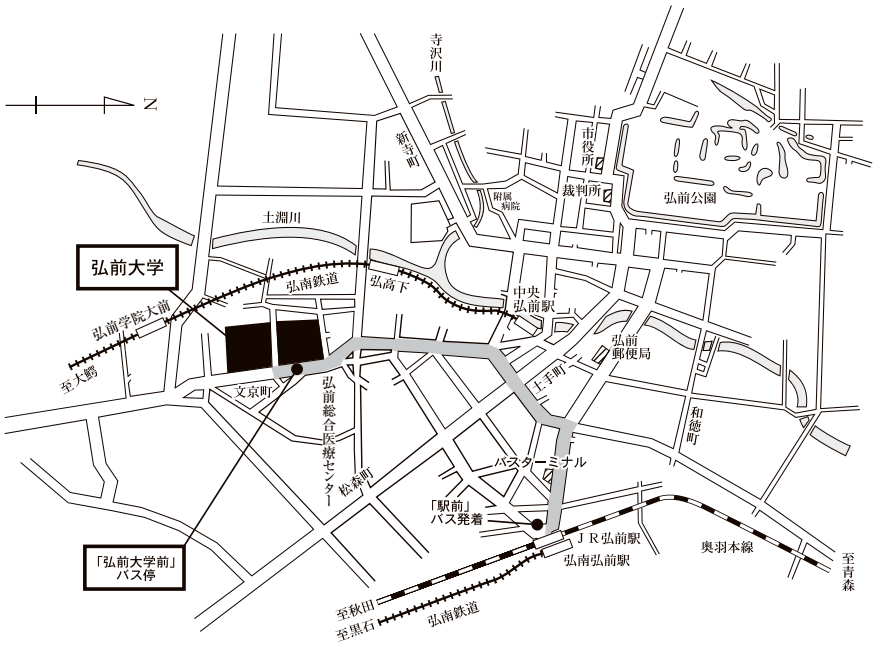
注）点数評価・段階評価する項目のうち，◎大きい比重，○小さい比重

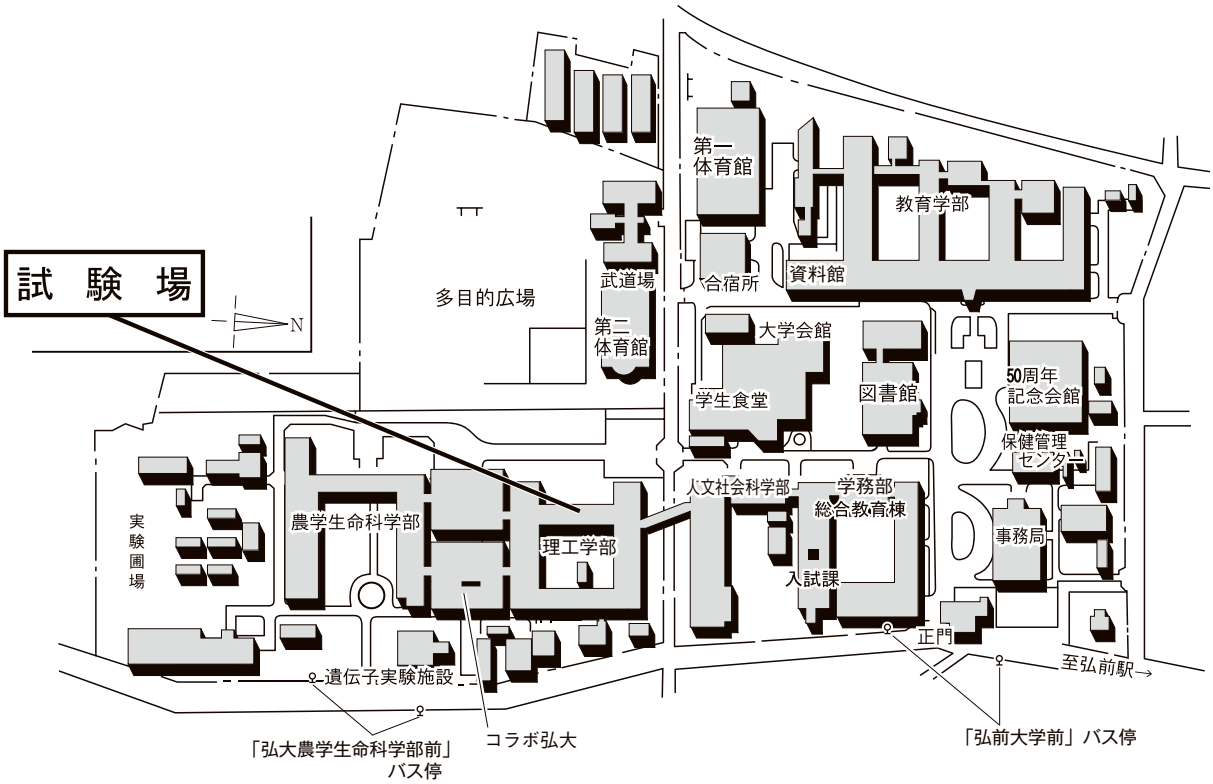
【別表２】入学者選抜方法の内容と評価要素

| 選抜方法 | 選抜区分 | 選抜内容と評価要素 |
|---|---|---|
| 個人面接 | 総合Ⅰ | 基礎学力に関する試問において，学部のカリキュラムに基づく学習を進めるのに必要な「学力」を評価します。また，志望動機，入学後の履修計画，卒業後の見通しなどに関する総合的な質疑により，「意欲」および「行動力」を評価します。 |
| | 編入学 | |
| 講義の実施とその内容に関するレポート | 総合Ⅰ | 学部において実施する講義に，能動的に対応するために必要な「学力」および「行動力」を評価します。 |
| 出願書類（志望理由書・調査書） | 一般・前期 | 志望理由書に記載された志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から，「意欲」に関する評価を行います。また，調査書記載の学習や課外活動に対する取組状況から「行動力」に関する評価を行います。以上の評価を総合して段階評価とし，その評価に応じた加点を行います。 |
| | 一般・後期 | |
| | 総合Ⅰ | |
| 志望理由書 | 編入学 | 志望理由と理工学部のアドミッション･ポリシーとの整合性から,「意欲」に関する評価を行います。 |
| 推薦書 | 編入学 | これまでの学習に対する取組や学習意欲に関する客観評価から，「意欲」および「行動力」の評価を行います。 |
| 調査書又は成績証明書 | 編入学 | これまでの学習に対する取組状況から，「行動力」の評価を行います。また，３年次以降の履修に対応する「学力」についても評価します。 |

# 試験場のご案内

**弘前大学までの略図**




① 弘前駅から理工学部まで（徒歩25分）
② 弘前駅前バス停より，弘南バスを利用。(小栗山・狼森・自衛隊・学園町線のいずれかを利用し，弘前大学前下車。)
③ タクシーを利用。(駅前より約10分)
④ 自家用車での来学は固くお断りします。

**試験場(理工学部校舎)等の略図**